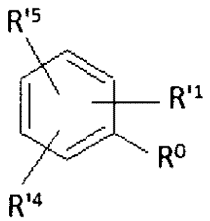
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】令和3年3月18日(2021.3.18)

【公開番号】特開2017-125181(P2017-125181A)
【公開日】平成29年7月20日(2017.7.20)
【年通号数】公開・登録公報2017-027
【出願番号】特願2016-239057(P2016-239057)
【国際特許分類】
Ｃ０９Ｊ　11/06　(2006.01)
Ｃ０９Ｊ 135/06　(2006.01)
Ｃ０９Ｊ 123/08　(2006.01)
Ｃ０９Ｊ 131/04　(2006.01)
Ｂ３２Ｂ　27/30　(2006.01)
Ａ６１Ｌ　 9/01　(2006.01)
Ｂ０１Ｊ　20/22　(2006.01)
Ｂ０１Ｊ　20/28　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０９Ｊ　11/06
Ｃ０９Ｊ 135/06
Ｃ０９Ｊ 123/08
Ｃ０９Ｊ 131/04
Ｂ３２Ｂ　27/30　Ｂ
Ａ６１Ｌ　 9/01　Ｋ
Ｂ０１Ｊ　20/22　Ａ
Ｂ０１Ｊ　20/28　Ｚ

【誤訳訂正書】
【提出日】令和3年2月5日(2021.2.5)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】全文
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
下記の（Ａ）～（Ｄ）を含むホットメルト接着剤組成物（各成分の含有量の合計は１００重量％）：
（Ａ）５重量％以上のポリオレフィン、スチレン・ブロック共重合体（ＳＢＣ）、エチレン－酢酸ビニル（ＥＶＡ）およびこれの混合物から選択される少なくとも一種の熱可塑性ポリマー、
（Ｂ）２０～７０重量％の少なくとも１種の粘着付与樹脂、
（Ｃ）０．０１～１重量％の、少なくとも一つのアミン末端基に直接にまたは間接的に結合した少なくとも一つの芳香環をその構造中に含む、モル重量が５００グラム／モル以下で且つ融点が１７０℃未満である少なくとも一種のアルデヒドスカベンジャー、
（Ｄ）５～３５重量％のナフテン油、パラフィン系オイルおよびこれらの混合物から選択される少なくとも一種の可塑剤。
【請求項２】
下記の（Ａ）～（Ｄ）を含む請求項１に記載のホットメルト接着剤組成物（各成分の含有量の合計は１００重量％）：

（Ａ）１５～３５重量％のポリオレフィン、スチレン・ブロック共重合体（ＳＢＣ）、エチレン－酢酸ビニル（ＥＶＡ）およびこれらの混合物から選択される少なくとも一種の熱可塑性ポリマー、
（Ｂ）３０～６０重量％の少なくとも１種の粘着付与樹脂、
（Ｃ）０．０１～１重量％の請求項１に記載の少なくとも一種のアルデヒドスカベンジャー、
（Ｄ）１０～３０重量％のナフテン油、パラフィン系オイルおよびこれらの混合物から選択される少なくとも一種の可塑剤。
【請求項３】
熱可塑性ポリマーがスチレン・ブロック共重合体およびエチレン－酢酸ビニルから選択される請求項１または２に記載のホットメルト接着剤組成物。
【請求項４】
熱可塑性ポリマーがスチレン・ブロック共重合体から選択される請求項３に記載のホットメルト接着剤組成物。
【請求項５】
熱可塑性ポリマーがポリオレフィンから選択される請求項１または２に記載のホットメルト接着剤組成物。
【請求項６】
粘着付与樹脂が１つまたは複数の炭素－炭素二重結合を含む請求項１～５のいずれか一項に記載ホットメルト接着剤組成物。
【請求項７】
粘着付与樹脂が炭素－炭素二重結合を含まない請求項１～５のいずれか一項に記載ホットメルト接着剤組成物。
【請求項８】
アルデヒドスカベンジャーが下記の式（Ｉ）の化合物から選択される請求項１～７のいずれか一項に記載ホットメルト接着剤組成物：



(I)

（ここで、
R^0は、NH_2であり、
R'^1は、水素原子および第一級アミンNH_2、第二級アミン－NH－R'^6、－SO_2－NH－R'^3および－CONH－R'^3の中から選択される末端アミン基の中から選択され、
R'^3は、水素原子またはC_1－C_7アルキルであり、
R'^6は、C_1－C_7アルキルであり、
R'^4およびR'^5は、水素原子、C_1－C_9アルキル、第一級アミンNH_2、第二級アミン－NH－R'^6－の中から選択されるか、互いにオルトの位置にある時に一緒になって６員環の芳香族炭化水素環を生成していてもよく、この６員環の芳香族炭化水素環は－SO_2－NH－R'^3、－CONH－R'^3、R'^4およびR'^5からなる群の中から選択される少なくとも一つのR'^7基によって置換されていてもよい）。
【請求項９】
アルデヒドスカベンジャーが２－アミノベンズアミド、３－アミノベンズアミド、１，８－ジアミノナフタレン、２－アミノベンゼンスルホンアミド、ベンゼン－１，２－ジアミンおよびこれらの混合物の中から選択される請求項１～８のいずれか一項に記載のホットメルト接着剤組成物。

【請求項１０】
アルデヒドスカベンジャーが２－アミノベンズアミドである請求項９に記載のホットメルト接着剤組成物。
【請求項１１】
アルデヒドスカベンジャーがホットメルト接着剤組成物の総重量に対して０．０９～０．５重量％の量で存在する請求項１～１０のいずれか一項に記載のホットメルト接着剤組成物。
【請求項１２】
下記の（Ｅ）をさらに含む請求項１～１１のいずれか一項に記載ホットメルト接着剤組成物：
（Ｅ）ホットメルト接着剤組成物の総重量に対して約０．１～約２重量％の少なくとも一種の酸化防止剤、
【請求項１３】
請求項１～１２のいずれか一項に記載の少なくとも一つのホットメルト接着剤組成物によって接着された少なくとも２つの基材を含む集合製品。
【請求項１４】
使い捨て型の不織布吸収性物品である請求項１３に記載の集合製品。
【請求項１５】
請求項１～１２のいずれか一項に記載の少なくとも一つアルデヒドスカベンジャーの、ホットメルト接着剤組成物の揮発性アルデヒドの除去または低減のための使用。

【誤訳訂正２】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００３６
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００３６】
本発明の第１の目的から、本発明は下記の（Ａ）～（Ｄ）：
（Ａ）５重量％以上のポリオレフィン、スチレン・ブロック共重合体（ＳＢＣ）、エチレン－酢酸ビニル（ＥＶＡ）およびこれの混合物から選択される少なくとも一種の熱可塑性ポリマー、
（Ｂ）２０～７０重量％の少なくとも１種の粘着付与樹脂、
（Ｃ）０．０１～１重量％の、少なくとも一つのアミン末端基に直接または間接的に結合した少なくとも一つの芳香環をその構造中に含む、モル重量が５００グラム／モル以下で且つ融点が１７０℃未満である、以下で定義するような、好ましくは２－アミノベンズアミド、３－アミノベンズアミド、１，８－ジアミノナフタレン、２－アミノベンゼンスルホンアミド、ベンゼン－１，２－ジアミンおよびこれらの混合物から選択される少なくとも一種のアルデヒドスカベンジャー、
（Ｄ）５～３５重量％のナフテン油、パラフィン系オイルおよびこれらの混合物から選択される少なくとも一種の可塑剤、
を含み、好ましくはさらに、
（Ｅ）０．１～２重量％の少なくとも一種の酸化防止剤、
をさらに含むホットメルト接着剤組成物を提供する（各成分の含有量の合計は１００重量％）。

【誤訳訂正３】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００４１
【訂正方法】変更
【訂正の内容】

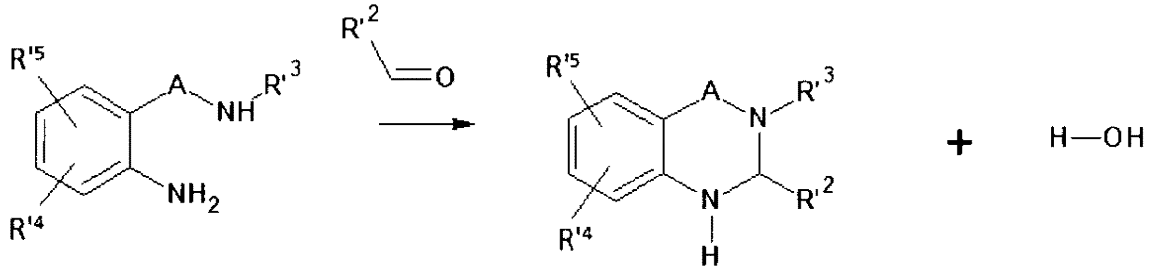
【００４１】
本発明の特定実施例では、ホットメルト接着剤組成物は下記（Ａ）～（Ｄ）：
（Ａ）１５～３５重量％のポリオレフィン、スチレン・ブロック共重合体（ＳＢＣ）、エチレン－酢酸ビニル（ＥＶＡ）およびこれらの混合物の中から選択される少なくとも一種の熱可塑性ポリマー、
（Ｂ）３０～６０重量％の少なくとも１種の粘着付与樹脂、
（Ｃ）０．０１～１重量％の、好ましくは０．０９～０．５重量％の、以下で定義するモル重量が５００グラム／モル以下で、融点が１７０℃未満である少なくとも一つの末端アミン基に直接にまたは間接的に結合した芳香環をその構造中に含む、好ましくは、２－アミノベンズアミド、３－アミノベンズアミド、１，８－ジアミノナフタレン、２－アミノベンゼンスルホンアミド、ベンゼン－１，２－ジアミンおよびこれらの混合物の中からは選択される少なくとも一種のアルデヒドスカベンジャー
（Ｄ）１０～３０重量％のナフテン油、パラフィン系オイル油およびこれらの混合物の中から選択される少なくとも一種の可塑剤、
を含み、好ましくはさらに、下記の（Ｅ）を含む：
（Ｅ）０．１～５重量％の少なくとも一種の酸化防止剤。

【誤訳訂正４】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００８３
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００８３】
「末端アミン基」という用語はここではその構造中に第一級アミン（NH_2）および第二級アミン（ＮＨＲ、ここで、Ｒは炭化水素基、好ましくはC_1－C_7アルキル）から選択される少なくとも一つの末端アミン基を有する一価の基を意味する。

【誤訳訂正５】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０１０１
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【０１０１】
（ここで、
R^0は、NH_2であり、
R'^1は、水素原子および第一アミンNH_2、第二級アミン－ＮＨ－R'^6、－SO_2－ＮＨ－R'^3および－ＣＯＮＨ－R'^3から選択される末端アミン基から選択され、
R'^3は、水素原子またはC_1－C_7アルキルであり、
R'^6は、C_1－C_7アルキルであり、
R'^4およびR'^5は、水素原子、C_1－C_9アルキル、第一アミンNH_2、上記定義の第二級アミン－ＮＨ－R'^6－から選択するか、互いにオルトの位置にあるときに一緒になって水素原子、第一級アミンNH_2、第二級アミン－ＮＨ－R'^6、－SO_2－ＮＨ－R'^3および－ＣＯＮＨ－R'^3から選択される上記定義の末端アミン基から選択される少なくとも一つのR'^7基によって置換されていてもよい（第２の）６－員環の芳香族炭化水素環、例えばフェニルを形成してもよい）

【誤訳訂正６】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０１０５
【訂正方法】変更

【訂正の内容】
【０１０５】



（ここで、
Ｒ'^{3}、Ｒ'^{4}およびＲ'^{5}は、上記定義のもの、
Ａは、－ＣＯ－または－ＳＯ$_{2}$－、
Ｒ'^{2}は、水素原子またはＣ$_{1}$－Ｃ$_{11}$、好ましくはＣ$_{1}$－Ｃ$_{9}$炭化水素である）

【誤訳訂正７】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０１０７
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【０１０７】
上記の要求を満たすことができ且つホットメルト接着剤組成物中の揮発性アルデヒドの含有量を減らすのに有効な本発明で使用するアルデヒドスカベンジャーＣには２－アミノベンズアミド、３－アミノベンズアミド、１，８－ジアミノナフタレン、２－アミノベンゼンスルホンアミド、ベンゼン－１，２－ジアミンおよびこれらの混合物が含まれる。

【誤訳訂正８】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０１１７
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【０１１７】
ナフテン油およびパラフィン系オイルは石油ベースの油で、ナフテン系炭化水素の混合物（脂肪族化合物（飽和または不飽和のＣ$_{4}$～Ｃ$_{7}$－員環炭化水素、好ましくは脂肪族の飽和または不飽和のＣ$_{4}$－Ｃ$_{6}$－員環化合物）から成る。例としてはシクロアルカン、例えばシクロペンタン、シクロヘキサン、シクロヘプタン、パラフィン系炭化水素（飽和、直鎖または分岐鎖のアルカン）および芳香族炭化水素（単環または多環、好ましくは芳香族Ｃ$_{6}$－員環炭化水素環）を挙げることができる。